

## 大谷翔平選手からのグローブが届きました

菟田野小学校にも大谷翔平選手からのグローブが届きました。右利き用2つ、左利き用1つ、サイン入りです。玄関ホールに展示し子どもたちに自由にはめてもらっていましたが、今後は休み時間や体育の時間にキャッチボールなどで使っていきます。

話題の真新しいグローブをはめて、子どもたちも嬉しそうです。グローブを初めてはめる子どももいます。野球に興味をもってもらう良い機会になっています。大谷選手がそうであったように、スポーツが人生を豊かにしてくれるということを感じてくれたら嬉しいです。



## 能登半島地震の募金活動

1月22日(月)から26日(金)の間、本校の計画運営委員が中心となり、全校に能登半島地震への募金を呼びかけました。毎朝募金箱を持って児童玄関に立ちました。

現在被災地はボランティアに行けない状況ですが、募金は素早く現地に届き、困っている方が必要なものに確実に変わります。子どもたちや、保護者の皆様のお気持ちは石川県に義援金として送られます。ご協力ありがとうございました。



## はるかのかのヒマワリと能登半島地震の募金

6年生は総合的な学習で、春、「はるかのかのヒマワリ」の種を植えました。阪神淡路大震災に関わるヒマワリの種です。これを育て広めることを通して、災害の悲惨さと共に命の尊さを考える機会とする事で、「人の尊厳」と「人との関わり」の大切さを知る感性豊かな地域社会を作る事を願っての活動です。収穫した種は、人権フェスティバルでも持ち帰ってもらいました。

これをさらに広く伝えようと、1月26日(金)6年生は街頭で種を配りました。そして同時に、能登半島地震の募金も呼びかけました。寒風吹きすさぶ中、多くの方に趣旨を説明し、種を渡し、募金を集めました。ある子どもは「みんな声がカスカスになるまでがんばって声かけをした。この募金で石川県に住んでいる人たちの命を少しでも救ってほしい。そして、はるかさんの思いもたくさんの人に知ってほしい」という感想を綴っていました。

## 避難訓練を行いました

能登半島地震がありましたので、1月25日(木)に地震を想定しての避難訓練を行いました。地震の避難訓練は今年度2回目となります。東日本大震災では約3分間、能登半島地震では約2分間大きな揺れが続いたそうです。その間「頭を守ること」「揺れている間は動かないこと」「危険なところからはやく離れること」が重要です。どの子どもも机で頭を守り、先生の指示に従って整然と避難できました。

万が一の時に自分で自分の身を守れるように今後も訓練を繰り返していきます。

